

平成 2 2 年 度 総 会

と き 平成22年4月4日(日) 15時00分

と ころ 富山第一ホテル

富山県ソフトテニス連盟

平成 22 年度 総会議題

1. 会長挨拶
2. 表彰
3. 本部評議員会・東日本連盟総会報告
4. 北信越連盟会議報告
5. 協議事項
 - (1) 平成 21 年度事業報告
 - ~~(2) 平成 21 年度決算報告~~
 - (3) 平成 22 年度事業計画(案)
 - ~~(4) 平成 22 年度収支予算(案)~~
 - (5) その他

2. 表 彰 (敬称略)

1. 平成 21 年度(財)日本ソフトテニス連盟表彰

- 支部功労者 松本久介 (富山県ソフトテニス連盟・副会長・城端)
開あけみ (富山県ソフトテニス連盟・副理事長・OG 連盟)
- 優良団体 YKK ソフトテニスクラブ
- 全日本ランキング表彰

種 別	順位	氏 名	所 属
※参考			
総合男子	4 位	稲積京之介	日本体育大学 (高岡商業卒)
社会人女子	5 位	前田 優 高橋 郁美	タカギセイコー
大学男子	3 位	柴田 泰輔	早稲田大学 (高岡商業卒)
大学男子	5 位	稲積京之介	日本体育大学 (高岡商業卒)

2. 平成 21 年度富山県体育協会表彰

- 特別表彰 ・山森誠二 (高岡商業高校教諭) : 国体に監督及び選手として通算 10 回以上出場
- 国体表彰 ・山下 恵 (タカギセイコー) : 国体成年の部に通算 5 回以上出場
- 感謝状 ・大塚常広 (富山県ソフトテニス連盟・常任参与) : 連盟役員として通算 10 年以上

3. 平成 21 年度富山県ソフトテニス連盟表彰

富山県ソフトテニス連盟表彰規定 (抜粋)	
第 1 条	連盟の発展並びに活動に顕著な貢献をした者、大会等において顕著な成績を残した者を対象に以下の通りと表彰する。 1. 功労者表彰 2. 優秀選手 (指導者、団体を含む) 表彰 3. 年間ランキング表彰
第 2 条	功労者表彰は、多年にわたり当連盟の発展並びに活動に顕著な貢献をした者に贈る。 1. 本賞は賞状並びに記念品とする。 2. 本賞は以下に定める事項に該当するものを対象者とする。 (1) 奥井賞 (特別表彰) : 会長、副会長、理事長として通算 10 年以上在職し、特に功績顕著と認められる者。ただし、この表彰は 1 回限りとする。 (2) 感謝状 : ① 顧問を除く役員として通算 10 年以上経過し、特に功績顕著と認められる者。ただし、この表彰は 1 回限りとする。 ② 当連盟の競技力の向上に顕著な貢献したと認められる者 (3) 上記事項と同等の功績と認められる事由がある者
第 3 条	優秀選手表彰は、当該年度の大会等において顕著な成績を収めた者に贈る。 1. 本賞は賞状並びに以下に定める激励金とする。 2. 本賞は以下に定める事項に該当するものを対象者とする。ただし、国体は除く。 (1) 特別優秀選手 : アジア競技大会、東アジア競技大会、世界選手権大会、アジア選手権大会に日本代表として出場し、優秀な成績を収めた選手及び指導者【激励金 3 万円】 (2) 優秀選手 : 日本ソフトテニス連盟主催及び共催大会において、優勝した団体または選手及び指導者【激励金 2 万円 (団体の場合は 5 万円)】 (3) 優良選手 : 日本ソフトテニス連盟主催及び共催大会において、ベスト 4 以上の成績を収めた団体または選手【激励金 1 万円 (団体の場合は 3 万円)】 (4) 上記事項と同等の功績と認められる事由がある者
第 4 条	年間ランキング表彰は、別に定める当該年度の大会等におけるポイント上位者 (第 3 位まで) に贈る。
第 5 条	本賞の決定は理事会において行う。ただし、理事会において受賞該当者がいないと認められたときは、その年度の賞は贈らない。

○ 優秀選手表彰

(1) 特別優秀選手

氏名	表彰事由
前田 優	表彰規定第3条第2項(4) 国際ジュニア大会 U-18 ダブルス・シングルス 3位

(2) 優秀選手

氏名	表彰事由
宮下 愛美	表彰規定第3条第2項(4) 国際ジュニア大会 U-20 ダブルス 5位
稲積京之介	表彰規定第3条第2項(2) 全日本インドア優勝ほか

(3) 優良選手

氏名	表彰事由
長尾 結衣	表彰規定第3条第2項(3) H21 ジュニアジャパンカップ U-17 女子 3位
柴田 泰輔	表彰規定第3条第2項(3) 東日本選手権 3位ほか
高岡商業 高校女子	表彰規定第3条第2項(3) 全国高校総体女子団体 3位
前田 優	表彰規定第3条第2項(3) H20 ジュニアジャパンカップ U-18 女子 3位

○ 富山県ランキング表彰 (小学生・中学生・高校生)

種別	第1位	第2位	第3位	
小学男子	芝井良太 (福野ソフトテニス少年団) 徳川開吏 (福野ソフトテニス少年団)	斉藤修也 (滑川ジュニアソフトテニスクラブ) 山本楓太 (滑川ジュニアソフトテニスクラブ)	小西陸渡 (小杉ソフトテニスクラブ) 棚田隆介 (小杉ソフトテニスクラブ)	南部天良 (福光ソフトテニス少年団) 桃野雄太 (福光ソフトテニス少年団)
小学女子	服部瑞季 (庄川ソフトテニス少年団) 武田小瑚 (庄川ソフトテニス少年団)	渋谷真由子 (射水ソフトテニス少年団) 宮原彩佳 (射水ソフトテニス少年団)	宮越稀愛 (氷見ジュニアソフトテニスクラブ) 村井琴音 (氷見ジュニアソフトテニスクラブ)	荒木郁菜 (射水ソフトテニス少年団) 向野詩織 (射水ソフトテニス少年団)
中学男子	前田暁人 (南砺市立城端中学校) 江将弥 (南砺市立城端中学校)	中田滉士 (高岡市立芳野中学校) 立野裕洋 (高岡市立芳野中学校)	八倉巻昌平 (滑川市立早月中学校) 梅澤高德 (滑川市立早月中学校)	齊藤圭亮 (滑川市立早月中学校) 小林輝 (滑川市立早月中学校)
中学女子	中川瑞貴 (南砺市立吉江中学校) 石田菜々香 (南砺市立吉江中学校)	湊和香奈 (氷見市立北部中学校) 絹野志朋 (氷見市立北部中学校)	湯浅加奈 (南砺市立福光中学校) 高畑茉侑 (南砺市立福光中学校)	柿谷真梨衣 (氷見市立北部中学校) 大浅美桜 (氷見市立北部中学校)
高校男子	尾山浩章 (富山県立高岡商業高等学校) 吉滝昇平 (富山県立高岡商業高等学校)	南部藍良 (富山県立高岡商業高等学校) 水内哲生 (富山県立高岡商業高等学校)	中川和貴 (富山県立高岡商業高等学校) 岩田将司 (富山県立高岡商業高等学校)	澤田通成 (富山県立入善高等学校) 稲谷涉 (富山県立入善高等学校)
高校女子	徳川愛実 (富山県立高岡西高等学校) 東海あかね (富山県立高岡西高等学校)	長尾莉々子 (富山県立高岡商業高等学校) 荒井晴那 (富山県立高岡商業高等学校)	砂山夏実 (富山県立高岡商業高等学校) 西尾萌子 (富山県立高岡商業高等学校)	渡辺幸代 (富山県立高岡西高等学校) 藤田佳那 (富山県立高岡西高等学校)

○富山県ランキング表彰（一般）

種 別	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位
一般男子	北 森 鉄 也 (不二越) 徳 野 司 (不二越)	中 本 悠 太 (YKK) 倉 田 栄 (YKK)	舟 瀬 宏 文 (YKK) 藤 村 祐 太 (YKK)	小 峯 秋 二 (高岡ビッグウェーブ) 中 尾 啓 太 (高岡ビッグウェーブ)
一般女子	膳 亀 美 奈 子 (タカギセイコー) 石 田 菜 摘 (タカギセイコー)	前 田 優 (タカギセイコー) 高 橋 郁 美 (タカギセイコー)	佐 藤 仁 美 (タカギセイコー) 宮 下 愛 美 (タカギセイコー)	山 下 恵 (タカギセイコー) 中 尾 真 梨 子 (タカギセイコー)

3. 本部評議会報告

平成21年度評議員会が、平成21年6月14日（日）【東京グリーンパレス】と12月6日（日）【東京グリーンパレス】に全国47都道府県代表等の評議員と本部役員等が出席し開催されました。以下に、要旨の抜粋を記します。

☆ 第1回評議員会：6月14日（日）

- 議題 (1) 第1号議案 平成20年度事業報告について
 (2) 第2号議案 平成20年度収支決算について
 (3) 第3号議案 平成21年度第1次補正予算（案）について

☆ 第2回評議員会：12月7日（日）

- 議題 (1) 平成21年度事業計画案及び収支予算案等について
 以下に詳細を記載

平成22年度事業計画

1. 会員登録制度の推進を図る。

(1) 会員登録の推進

- ・制度の周知徹底を図り会員登録を定着させ、さらに推進する。

(2) 会員登録手続きの効率化

- ・会員登録システムの活用により、事務処理の効率化を図る。
- ・会員登録システム担当者引継袋の利用を徹底し、登録事務引継の円滑化を図る。
- ・会員登録システムに連動し、審判、技術等級の認定管理を行う。
- ・会員登録納付システムの活用による会費の早期かつ正確な納付による円滑な資金管理を推進する。
- ・会員証及び会員報配布を各団体へ直接送付し支部関係者の事務負担の軽減を図る。

(3) 傷害補償制度の徹底

- ・制度の目的、主旨を、会員報・機関誌・ホームページを利用して分かり易く伝え制度活用の推進を図る。

(4) 会員報の発行

- ・会員登録料の使途状況及び日本連盟の情報を会員に周知する。

(5) 登録状況の把握と改善

- ・支部別及び階層別の団体数と会員数等を把握する。
- ・会員登録有料化からの階層別会員推移の検証・分析を実施する。

2. 競技力向上に関し、次の事業を実施する。

(1) 競技者育成プログラムの推進

- ・一貫指導システムの構築を図り、競技者育成プログラムをStep1からStep5の過程を経て実施することにより、競技力を向上させる。
 - Step-1,2 47都道府県で強化を実施
 - Step-3 8ブロックで強化合宿兼選考会を実施
(8月下旬～9月上旬予定) 強化
 - Step-4 宮崎市で強化合宿兼選考会及びジュニアジャパンカップを実施
(11月19日(金)～11月22日(月))
 - Step-5 全日本U-14,U-17,U-20として強化合宿を実施

(2) ナショナルチームの強化合宿

- ・男子、女子とも年6回の強化合宿を実施する。

(3) 全日本U-14. U-17. U-20の強化合宿

- ・男子、女子とも年2回の強化合宿を実施する。

(4) 競技力向上のための海外遠征

・次の国際大会へ選手を派遣し、競技力の向上を図る。

①第16回アジア競技大会(中国・広州)

②第18回日・韓・中ジュニア交流競技会(韓国・鄭州)

③第9回チャイニーズカップ国際ソフトテニス大会(中国・広州)

④第7回ハンガリー国際大会(ハンガリー・ブダペスト)

⑤第8回中山杯国際大会(中華台北・台中)

⑥第5回バイカル杯国際大会(ロシア)または、第2回モンゴル国際大会(モンゴル)

(5) 強化スタッフの各種大会視察

・全日本選手権大会等の視察を実施する。

(6) 競技力向上のための調査・研究

・世界No.1の実力を維持するための戦略をたてる。

・医師及び科学スタッフにより、医科学サポート及びトレーナーズテントの設営を実施する。

・各種のフィットネステストデータにより、各種目間の関連性や競技力との関連を分析する。

・サーフェース別のボールのバウンドと打球力の相違等を調査し、競技力向上との関連性を分析する。

・シングルス、混合ダブルスの強化対策を実施する。

3. 指導者養成のために次の事業を実施する。

(1) 全国小学生・中学生・高校生指導者の合同研修会

・小学生、中学生、高校生へのソフトテニス活動における課題の改善について検討する。

・競技者育成プログラムの現状を把握し、さらなる推進に向けて協議を行う。

・競技者育成プログラムに関わる指導用マニュアルを活用し、一貫指導システムの構築を推進する。

(2) 指導者養成事業の推進 *資質向上も目的*

・公認コーチ養成研修会を実施する。

Hの公認コーチ検定会と併用

・指導者養成講習会(各都道府県連盟)を「公認スポーツ指導者養成マニュアル」を活用して積極的に実施し、公認スポーツ指導者の拡大を図り、地域の普及活動を充実させる。

・公認スポーツ指導者及び非公認スポーツ指導者の活用方法の検討を行う。

・国民体育大会の監督は、2012年から公認スポーツ指導者とすることを義務づける。

*将来的には
都道府県対抗
試合視野*

(3) 指導者バンク(日本連盟)の推進 *数年男子の課題, 団体改革
日程, 参加数*

・競技者育成プログラム(Step3, 4, 5)を推進するための公認指導者を確保する。

(日本連盟指導者バンクへの登録の推進)

(4) 一貫指導システム確立のための指導理念、指導法ならびに指導内容の検討

・競技者育成プログラムを推進するための指導マニュアルを作成する。

・「指導教本」「コーチ教本」「指導マニュアル」「DVD世界に飛ばたけトッププレーヤーへの道」の更なる検討そして改訂を継続して行う。

当面はアンダー制の年齢区分変更に伴う「指導マニュアル(ジュニア編)」の修正追加などの改訂作業を行う。

4. アンチ・ドーピングに関し、次の事業を行う。

(1) アンチ・ドーピングに関する啓発活動

- ・強化合宿等への講師派遣や大会参加者への資料配付等を実施して、アンチ・ドーピングについて、競技者に分かり易く周知する。

(2) 国内大会におけるドーピング検査の実施

- ・全日本選手権大会、全日本シングルス選手権大会等で実施する。

5. 地域グループ育成のため、次の事業を実施する。

(1) ジュニア層の普及状況把握

- ・「なぜソフトテニスをやめたのか」をテーマに実施したアンケート調査(中・高)の分析を行い、中学生から高校生への登録数減少に対する分析と対策を継続して検討する。

(2) 地域クラブ・ジュニアクラブ等の育成

- ・地域クラブ、ジュニアクラブ等の育成の充実を図ることを目的として、各支部に対し会員登録料から下記の率により助成する。

(一般20%、高校生10%、高専10%、中学生20%、小学生50%)

(3) 支部中学校大会への補助

- ・47支部×@30,000円を助成する。

(4) 支部レディース大会への補助

- ・47支部×@50,000円を助成する。

(5) ソフトテニス週間の実施

- ・10月の体育の日(月)を中心とした前後一週間(金曜日から木曜日)をソフトテニス週間として定め、全国で一斉にソフトテニスを楽しみアピールする。
- ・47支部×@100,000円を助成する。

(6) 指導者バンク(地域)の活用推進

- ・積極的に指導者バンク(地域)を活用して、競技者育成プログラム(Step1, 2)の推進および中学校・高校の指導者不足を解消する等、普及を担う指導者を確保する。
- ・ジュニア層指導者の資格取得の促進(指導員・審判・技術等級)

(7) 総合型地域スポーツクラブの研究

- ・ソフトテニス総合型地域スポーツクラブに参画するための研究を進めるとともに、必要な情報提供を行う。

6. 国内競技会を大会実施要項に基づき、別表のとおり実施する。

(1) 平成22年度大会日程および会場

平成22年度 大会日程並びに開催地一覧

	大会名	開催地	日 程	23年度
主 催 大 会	第16回アジア競技大会日本代表予選会	大阪府・大阪市	5月3日(月)～5日(水)	
	第17回全日本シングルス選手権大会	広島県・広島市	5月15日(土)・16日(日)	大阪府・大阪市
	男子第55回・女子第54回 全日本実業団選手権大会	山口県・宇部市	7月23日(金)～25日(日)	岐阜県
	第27回全日本小学生選手権大会	北海道・旭川市	8月5日(木)～8日(日)	(近畿)
	第38回全日本社会人選手権大会	埼玉県・さいたま市	9月4日(土)・5日(日)	(九州)
	第17回JOC杯・全日本ジュニア選手権大会	広島県・広島市	9月11日(土)・12日(日)	広島県・広島市
	第14回全日本シニア選手権大会	福岡県・北九州市	9月10日(金)～12日(日)	(北信越・東海)
	第65回天皇賜杯・皇后賜杯 全日本選手権大会	徳島県・徳島市	10月15日(金)～17日(日)	(関東)
	第24回日本実業団リーグ	京都府・福知山市	10月29日(金)～31日(日)	京都府・福知山市
	第17回全日本クラブ選手権大会	千葉県・白子町	10月30日(土)・31日(日)	千葉県・白子町
	第28回日本リーグ	広島県・広島市	12月16日(木)～19日(日)	広島県・広島市
	第56回全日本インドア選手権大会	大阪府・大阪市	23年 2月6日(日)	大阪府・大阪市
	日本リーグ入替戦	愛知県・名古屋市	23年 2月12日(土)・13日(日)	愛知県・名古屋市
	ス ポ ー ツ 業	第5回ジュニアジャパンカップ 「競技者育成プログラム(Step4)」	宮崎県・宮崎市	11月19日(金)～22日(月)
第22回都道府県対抗全日本中学生大会		三重県・伊勢市	23年 3月26日(土)～28日(月)	三重県・伊勢市
第10回全国小学生大会		千葉県・白子町	23年 3月29日(火)～31日(木)	千葉県・白子町
共 催 大 会	第39回ハイスクールジャパンカップ	北海道・札幌市	6月25日(金)～27日(日)	北海道・札幌市
	西日本シニア選手権大会	滋賀県・長浜市他	7月3日(土)・4日(日)	(中国)
	第65回東日本選手権大会	石川県・金沢市	7月17日(土)・18日(日)	(北海道・東北)
	第64回西日本選手権大会	兵庫県・三木市	7月17日(土)・18日(日)	(中国)
	全日本高校選手権大会	沖縄県・沖縄市	8月5日(木)～12日(木)	(東北)
	全日本学生選手権大会	滋賀県・長浜市他	8月6日(金)～12日(木)	
	第37回全日本レディース大会(個人戦)	宮城県・仙台市	8月1日(日)～3日(火)	島根県
	第41回全国中学校大会	岡山県・岡山市	8月23日(月)～25日(水)	奈良県・明日香村
	第32回全日本レディース決勝大会(団体戦)	東京都・江東区	8月25日(水)～27日(金)	東京都・江東区
	日本スポーツマスターズ2010	三重県・四日市市	9月18日(土)～20日(月)	石川県
	第65回国民体育大会	千葉県・白子町	9月25日(土)～29日(水)	山口県・宇部市
国 際	第23回全国スポーツ・レクリエーション祭	富山県・高岡市	10月16日(土)～19日(火)	栃木県
	第36回全日本高校選抜大会	愛知県・名古屋市	23年 3月29日(火)・30日(水)	愛知県・名古屋市
	第18回日・韓・中ジュニア交流競技大会	中国・鄭州市	8月23日(月)～29日(日)	(日本)
第16回アジア競技大会	中国・広州市	11月13日(土)～19日(金)		
その他	第23回ねんりんピック2010	石川県・能登町	10月9日(土)～12日(火)	熊本県

※諸事情により変更となる場合があります。

※上記大会では、ドーピング検査を実施する可能性があります。

7. 大会の検討と大会運営の改善

(1) 全日本選手権大会の検討

- ・NHK放送を考慮した会場の基準や進行等を工夫して「するスポーツ」と「見るスポーツ」双方を向上させるための検討を継続して行う。

(2) 全日本団体選手権大会の検討

- ・団体総合選手権大会の創設や実業団、クラブの団体対抗大会のあり方について検討し、方向性を決定する。

(3) 主催大会開催地への支援

- ・主催大会を主管し、実質的に運営している開催地の運営状況等を的確に把握し、主要事業である大会が円滑に運営されるように支援する。

(4) ゼッケンの着用 3枚, 2枚と切り替えOK, 新たに作製する場合, 3枚に!

- ・競技性の向上をめざし、ゼッケンの着用を定着させる。

(5) スコアボードの検討

- ・競技性の向上を図るため、標準的なスコアボードの基準を示す。

(6) 主催大会における大会運営マニュアルの活用と役割分担の明確化を図る。

- ・競技、審判、広報等大会運営マニュアルを活用し、円滑な大会運営と日本連盟と主管支部の大会開催にあたっての役割分担の明確化を図る。

(7) スポーツ活動を通して環境保全を図る。

- ・大会や強化事業を実施する際にごみの分別等を行うなど、スポーツ活動を通して環境保全を図る。そして、スポーツをする人たち、見る人たちも相等しく地球人として環境保全を推進するため、物を大切に生活習慣を徹底する。

8. 地域等における競技会開催に、次のとおり補助を行う。

(1) 9地区選手権大会

- ・9地区×200,000円を助成する。

(2) 地区高校選抜大会

- ・9地区×100,000円を助成する。

(3) 10地区中学選手権大会

- ・10地区×100,000円を助成する。

(4) 壮年東西対抗大会

- ・200,000円を助成する。

(5) 超壮年東西対抗大会

- ・200,000円を助成する。

(6) 全日本学生同好会大会

- ・200,000円を助成する。

9. 公認審判員制度に関し、次の事業を実施する。

- (1) マスターレフェリーの認定（50歳以上）
- (2) マスターアンパイヤーの認定（50歳以上）
- (3) 1級審判員の検定会・研修会の実施
 - ・検定会2回（東西）、研修会9回（各ブロック）を開催する。
- (4) 1級審判員の認定（新規、更新）
 - ・審判員の資質向上を図るため、1級審判員を新規（検定会）に養成するとともに、6年の更新（研修会）により継続的に推進する。
- (5) 2級審判員の認定（新規、更新、ジュニア審判員からの移行）
- (6) ジュニア審判員の認定（小学生と中学生を対象とする）
 - ・ジュニア審判員の制度等について周知し、資格取得者の増加を図る。
 - ・ジュニア審判員養成のための問題集を活用する。
- (7) 主要大会における派遣審判員制度の充実
 - ・日本連盟主催大会に主管支部の所属ブロックから審判員を派遣し、審判員技術と資質の向上を図る。
- (8) 審判DVDの活用
 - ・日本連盟で作成したDVDを審判技術向上のために積極的に活用する。
 - ・国際普及に向けて英語版の審判マニュアル(DVD)を活用する。
- (9) 審判員バンクの整備
 - ・審判員バンクを創設して、国内外の審判員資質向上と審判員体制の確立を図る。
- (10) 大会マニュアル及び審判マニュアルを活用する。
- (11) 審判認定システムを活用して認定手続きと資格者管理の効率化の推進を図る。

10. 技術等級に関し、次の事業を実施する。

- (1) 名誉指導員およびマスターの認定
- (2) 技術等級の認定（大会実績、検定会）
 - ・見直しを図った認定基準の周知、徹底を図り、分かりやすい技術等級制度を確立させ、多くの会員に取得させるよう努める。特に検定会による取得の促進を図る。
- (3) 技術等級認定システムを活用して認定手続きと資格者管理の効率化の推進を図る。

11. 用具・施設の公認に関し、次の事業を行う

- (1) ラケットの証紙、ネットの証布の発行
- (2) 新規公認・更新手続きの承認

12. 広報に関し、次の事業を行う。

(1) 新聞報道の充実

- ・報道機関に対し、話題性のある広報を積極的に行う。
- ・新聞報道対応マニュアルを活用する。

(2) 全日本選手権大会のNHKテレビ放送の継続

- ・平成13年から継続しているNHKテレビ放映を引き続き確保する。

(3) 機関誌「ソフトテニス」の毎月発行

- ・内容の充実と購読者の増加を図る。

(4) ITシステムの活用とホームページの充実

- ・会員登録システムを充実するとともに、会員登録料納付システム・審判・技術等級システムを積極的に活用する。
- ・ホームページおよびケータイホームページの充実と積極的活用を行う。
- ・日本連盟テレビ局及び各支部テレビ局の映像を通して、積極的な動画配信の広報活動を展開する。

(5) 大会記録集の発行

(6) ソフトテニスの歌の活用

- ・日本連盟主催事業での活用と全国各地域での普及を図る。

(7) その他の広報活動と積極的な活用を推進する。

- ・支部動画配信の活性化を促進する。
- ・メディア報道へ積極的に協力する。

(8) スポーツと環境保全に対する啓発活動を推進する。

13. 各種表彰を次のとおり行う。

(1) 国内関係表彰

- ・以下の区分により国内表彰を行う。

- ①国内大会入賞者
- ②本部功労者
- ③支部功労者
- ④優良団体
- ⑤優秀監督
- ⑥優秀選手
- ⑦全日本ランキング

(2) 国際大会入賞

- ・現行の表彰基準により実施する。

14. 国際競技大会の参加種目への招致活動及び大会運営について支援する。
 - (1) 第16回アジア競技大会(2010年広州)の運営を積極的に支援する。
 - (2) 第6回東アジア競技大会(2013年天津)の参加種目への招致活動を展開する。
 - (3) 第17回アジア競技大会(2014年仁川)の参加種目への招致活動を展開する。
15. 国際競技大会への代表選手団を、次のとおり派遣する。
 - (1) 競技力向上を図るため各種国際競技大会へ積極的に代表選手団を派遣する。
16. 国際普及活動を推進する。
 - (1) 75カ国(地域)への普及を目標に活動を促進
 - (2) 普及対象国への指導者、選手の派遣および普及対象の選手、指導者を日本での研修受入れ
 - (3) ジュニア、シニア等の交流促進
 - (4) 普及対象国への支援についての整理、調整
 - (5) 用具の提供、流通の促進
 - (6) 指導DVD、審判DVDの提供
17. 国際指導体制、審判体制の促進
 - (1) 国際指導員制度(ASTF)の推進
 - (2) 国際審判員制度(ASTF)の推進
 - (3) 国際指導者バンクの創設と登録促進(普及対象国への指導者派遣)
 - (4) 普及指導用諸教材の作成提供
 - ・次の教材を、指導者等へ提供して普及活動に活用する。
 - ① 紹介用プレゼンテーションDVD、紹介用パンフレット
 - ② 技術指導DVD(基礎技術、応用技術、練習方法、競技、審判各編)、解説書等
 - ③ 諸規定集(ルールブック、審判DVD等)
18. 国際組織(ISTF、ASTF)への活動を支援する。
 - (1) ISTF
 - (2) ASTF
 - (3) その他のソフトテニス組織(地域、国)
 - (4) 各国の協力体制、財政基盤の確立、組織運営について検討する。
 - (5) 国際大会のスケジュール年表の作成
 - (6) 東アジア競技大会(2013年天津)への参加活動の推進
 - (7) 世界選手権大会およびアジア選手権大会の開催地決定に関する支援

H23

H24

19. オリンピック参加に向けての環境づくりと参加実現性の検証を行う。

- (1) 現状の調査、分析、対応策の検討
- (2) 国際関係組織とのコミュニケーション促進(GAISF等)
- (3) 国際PR活動
- (4) 諸総合大会への参加、諸団体への加盟など推進

20. 新公益法人制度への対応を図る。

- ・新制度への移行の準備を行う。

21. 組織と財政の強化を図る。

- ・会員登録制度を定着し、専門委員会や事務局体制を充実させるとともにスポンサーの獲得に努力する。

22. 長期基本計画2007に基づく課題の検討と対策の推進を図る。

- ・ソフトフェスティバルについては、毎年開催は困難。
3, 5年のみの開催はなし
- ・国際シニア大会は、5年に1回が限度。

日本連盟主催大会 基本日程の変更について

全日本シニア選手権大会の日程を10月第2週から9月第2週へと変更する。
 主要大会の基本日程は下記のとおり。

5月	国際大会日本代表予選会	連休中 3日間	一般男女
	全日本シングルス選手権大会	第3週 2日間	一般男女
6月	ハイスクールジャパンカップ	第3週 3日間	高校生男女
7月	西日本シニア	第1週 2日間	シニア男女
	西日本選手権大会	第3週 2日間	一般・成年
	東日本選手権大会	第3週 2日間	一般・成年・シニア
	全日本実業団選手権大会	最終週 3日間	実業団男女
8月	全日本高校選手権大会	8月	高校生男女
	全日本小学生選手権大会	第1週 4日間	小学生男女
	全日本レディース個人戦	第1週 3日間	レディース
	全日本学生選手権大会	第2週 7日間	大学生
	国民体育大会ブロック大会	第3週(基本的考え)	少年・一般
	全国中学校大会	8月	中学生男女
	全日本レディース団体戦	第4週月・火・水	レディース
	日・韓・中ジュニア交流大会	8月23日～29日固定	高校生男女
9月	全日本社会人選手権大会	第1週 2日間	一般男女・成年男女
	JOC杯・全日本ジュニア選手権大会	第2週 2日間	中・高・大男女
	全日本シニア選手権大会	第2週 3日間	シニア男女
	マスターズ	第3週 5日間	成年・45歳男女
10月	国民体育大会	第1週 5日間	少年・一般
	スポーツ・レクリエーション祭		45・50・55
	全日本選手権大会	第3週 3日間	全選手男女
11月	全日本クラブ選手権大会	第1週 2日間	クラブ男女
	日本実業団リーグ	第1週 3日間	実業団男女
	ねんりんピック 日本リーグ	第3週 3日間	実業団男女
	ジュニアジャパンカップ	第4週 4日間	ジュニア
2月	全日本インドア選手権大会	第1週 1日	一般男女
	日本リーグ入替戦	第2週 2日間	実業団男女
3月	都道府県対抗全日本中学校大会	3月26日～28日固定	中学生男女
	全国小学生大会	3月29日～31日固定	小学生男女
	全日本高校選抜大会	3月29日～30日固定	高校生男女

平成 22 年度大会要項の変更について

要点

1. 会員登録数による参加枠の見直しを3年ごとに行う
2. 平成 18 年度～20 年度登録数の上位 10 支部に対し、参加枠を優遇する
 上位 10 支部＝愛知・埼玉・千葉・兵庫・静岡・神奈川・東京・北海道・茨城・福島
3. 開催支部の属するブロックへの参加枠増
4. 平成 22 年度全日本実業団選手権大会への推薦チームの決定
5. JOC 杯全日本ジュニア選手権大会の種別をシングルスのみとする

【1】全日本シングルス選手権

現 在	改 訂 案
(17)各都道府県 ・開催支部 8名以内 ・その他の都道府県 4名以内	(17)各都道府県 ・開催支部 8名以内 ・ <u>開催支部の属するブロックの支部 6名以内</u> ・その他の都道府県 4名以内

【2】全日本社会人選手権

一般

現 在	改 訂 案
(1)東京都・開催支部＝20 ペア以内 (2)北海道・埼玉・千葉・神奈川・愛知・ 大阪・兵庫＝16 ペア (3)その他の府県＝12 ペア	(1)開催支部、 <u>愛知、埼玉、千葉、兵庫、静岡、 神奈川、東京、北海道、茨城、福島</u> ＝20 ペア以内 (2)その他の府県＝ <u>16 ペア</u>

【3】全日本選手権

現 在	改 訂 案
(9)各都道府県 ・開催支部＝6 ペア以内 ・愛知、埼玉、神奈川、兵庫、千葉、静岡、 大阪、東京、茨城、北海道＝4 ペア以内 ・その他の支部＝2 ペア以内	(9)各都道府県 ・開催支部＝6 ペア以内 ・愛知、埼玉、千葉、兵庫、静岡、神奈川、 東京、北海道、茨城、 <u>福島</u> ＝4 ペア以内 ・その他の支部＝2 ペア以内 ・ <u>開催支部の属するブロックの支部</u> ＝ <u>規定数+1 ペア</u>

【4】JOC 杯全日本ジュニア選手権大会

	現在	改訂後
種別	ダブルス 男子・女子 シングルス 男子・女子	シングルス 男子・女子
参加数	ジュニア 1 部 (満 13 歳以上～17 歳以下) 中学生 男子 8 ペア・女子 8 ペア 高校生 男子 8 ペア・女子 8 ペア	U-20 男子・女子 大学生 18 名 全日本大学選手権ダブルスベスト 4・シングルスベスト 4 の 2 年生以下および日連推薦 高校生 18 名 全日本高校選手権個人戦ベスト 8 の 3 年生および日連推薦
	ジュニア 2 部 (満 18 歳以上～20 歳以下) 高校生 男子 8 ペア・女子 8 ペア 大学生 男子 4 ペア・女子 4 ペア 日連推薦 男子 4 ペア・女子 4 ペア	U-17 男子・女子 高校生 18 名 全日本高校選手権個人戦ベスト 8 の 1・2 年生および日連推薦 中学生 18 名 全国中学校大会個人戦ベスト 8 の 3 年生および日連推薦
		U-14 男子・女子 中学生 18 名 全国中学校大会個人戦ベスト 8 の 1・2 年生および日連推薦 小学生 18 名 全日本小学生大会個人戦ベスト 4 および日連推薦
		※日連推薦は全日本アンダーチームから選出する ※各種別の参加選手が 36 名に満たない場合でも追加しない ※本大会ベスト 4 の選手は Step4 に推薦する ※本大会優勝者は Step5 に推薦する

4. 東日本連盟総会報告

平成 21 年度評議員会が、12 月 5 日（土）午後 14 時 00 分から東京グリーンパレス（東京都内）において、東日本連盟加盟都道府県代表等と東日本連盟員等が出席し開催されました。

1. 平成 22 年度東日本選手権について

- 開催日時：平成 21 年 7 月 17 日（土）～7 月 18 日（日）
- 開催場所：石川県金沢市ほか 6 会場
- ゼッケン着用の義務づけ
- 富山県の場合：高校生は 4 ペア以内、各種別はフリー（一般男女は技術等級 2 級以上が必要）
- 全種別とも公認審判員の資格を有すること

5. 北信越連盟関連会議報告

●第 1 回北信越連盟理事長会議

- 日時：平成 21 年 5 月 24 日(日)
- 会場：上越市（北信越選手権大会開催会場）
- 議題：1.北信越ブロック国体抽選 ほか

●第 10 回北信越連盟会長会議（毎年 1 回開催）

- 日時：平成 21 年 8 月 22 日(土) 北信越ブロック国体第 1 日目
- 会場：金沢市
- 内容：日本連盟・林副会長との懇談 ほか

●第 2 回北信越連盟理事長会議

- 日時：平成 21 年 12 月 5 日(土) 東日本連盟総会終了後
- 会場：東京都内
- 議題：1.平成 21 年度事業報告（途中経過）
- 2.平成 22 年度大会日程 ほか

●第 3 回北信越連盟理事長会議

- 日時：平成 22 年 1 月 23 日(土)
- 会場：新潟県上越市
- 議題：1.平成 21 年度事業報告
- 2.平成 21 年度決算報告
- 3.平成 22 年度事業計画(案)
- 4.平成 22 年度収支予算(案)
- 5.その他

☆年度別大会開催予定表

年度	選手権			北信越	実業団	インドア			備考
	中学	高校	一般	国体	リーグ	中学	高校	選抜	
22	福井県	石川県	新潟県	富山県	新潟県	福井県	石川県	長野県	スポレク(富山)
23	富山県	富山県	新潟県	長野県	富山県	富山県	長野県	石川県	
24	長野県	福井県	新潟県	福井県	石川県	長野県	石川県	長野県	
25	石川県	長野県	新潟県	新潟県	福井県	石川県	長野県	石川県	

6. 協 議 事 項

(1) 平成 21 年度事業報告

●総務部（事務局）

1. 全国評議員会
第1回 平成21年6月14日（東京） 出席者：1名（高辻）
第2回 平成21年12月5日～6日（東京） 出席者1名（高辻）
北信越理事長会議，東日本連盟総会，日本連盟評議員会
2. 北信越連盟会議 北信越連盟関係会議報告を参照
3. 納 会 21年12月12日（富山地区担当）：とやま自遊館）
4. 理 事 会
第1回 21年12月12日（とやま自遊館）
第2回 22年2月22日（富山県総合体育センター）
5. 対 外 諸 会 議
 - 県体協関係会議 21年4月21日，10月28日，22年3月5日
 - 北信越国体関係会議 21年8月19日（高志会館），11月30日（県体協会議室）
 - 国体選考委員会 21年8月27日（県体協会議室）
 - 全国スポレク祭担当者会議 21年4月23日，5月14日，7月22日，22年2月19日
 - 生涯スポーツ協議会関係会議 21年5月8日，9月25日
 - 国体入賞報告会 21年11月16日（高志会館）
 - その他
6. 競技スポーツ振興事業【富山県体育協会経費補助：小学生対象（300,000円）】
7. そ の 他
 - 事務連絡会等 随 時
 - ホームページの更新 随 時

●強化部

1. 富山県体育協会強化事業【富山県体育協会経費補助】

《参考：富山県体育協会報告書より抜粋》

- 強化スタッフ・選手指定事業（保険加入補助，指定証発行）
総監督 1名
少年男子 監督 1名，コーチ 1名，選手 9名
少年女子 監督 1名，コーチ 1名，選手 9名
成年男子 監督 1名，コーチ 1名，選手 9名
成年女子 監督 1名，コーチ 1名，選手 9名

- 組織整備事業（組織強化補助：100,000円）

- 合宿・遠征事業（競技力向上補助：3,428,000円）

- アドバイザー招聘事業（スポーツインテリジェンス・片岡 淳：369,000円）

- スポーツ道場開催事業（競技力向上補助：700,000円）

2. その他

- スタッフ会議，強化練習会，近県合同練習会ほか

●競技部

※ 平成21年度の県内大会成績等については富山県ソフトテニス連盟ホームページをご覧ください。
ホームページのアドレスは，以下の通りです。

<http://www.jsta.or.jp/~toyama/>

(3) 平成 22 年度事業計画 (案)

I. 事業方針

1. 会員登録の促進【参考資料】
2. 競技力向上対策事業の実施【強化部】
 - ① 国体上位入賞のための強化事業
 - ② 北信越・東日本・全日本大会等の競技会への派遣
 - ③ 競技者育成プログラムの推進
 - ④ 全日本小学生大会上位入賞のための強化事業と派遣助成
3. 生涯スポーツとしての「ソフトテニス」の普及促進
 - ① 「ソフトテニスの週間」の実施
 - ② シニア層の普及・振興
 - ・ 平成 22 年度富山県開催の全国スポレク祭の開催
 - ・ 全日本マスターズ大会への派遣助成
 - ・ シニア講習会の実施
 - ③ レディース層の普及・振興
 - ・ 富山県レディース大会への支援
 - ・ 全国大会への派遣助成
 - ④ 中学・高校生の普及と強化
 - ・ ジュニアオープン大会の開催
 - ・ 競技者育成プログラムの推進
 - ⑤ 小学生の普及促進
 - ・ 富山県小学生ソフトテニス連盟の活動支援
 - ・ 全国大会への派遣助成
2. 審判員養成と技術等級制度の促進
 - ① 公認審判員の認定 (新規・更新)
 - ② 技術等級の認定
3. 広報活動の活性化
 - ① ホームページのリニューアルと会員へのサービスの向上
 - ② 富山県ソフトテニス連盟 TV (動画配信) の充実
 - ③ 大会記録等のマスコミへの提供

II. 行事日程並びに大会要項

1. 行事日程表 (別紙参照)
2. 大会要項の整備
3. 北信越国民体育大会の開催

平成22年度富山県ソフトテニス連盟事業計画

2010/03/16修正

月	日	一般、小学生等	会場	中学大会	会場	高校大会	会場	北信越・全国大会他	会場
4	4	総会	第一H						
	11	春季クラブ対抗	小矢部						
	18	シングルス大会(5面)	宮野山			17 春季選手権(予備日118)	高岡コア		
	25	春季選手権(予備日5/2)	前田						
5	2			1~4 東西交流大会	高岡コア			3~5 第16回アジア大会予選	大阪市
	9			5 強化指定選手選考会	高岡コア			16 第15回北信越小学生大会	上越市
	16	ねんりんピック(予備日23)	岩瀬			29 総体地区予選(予備日30)	各地区	15,16 全日本シングルス選手権	広島市
	23							23 北信越選手権	上越市
	30	スポレク	前田						
6	5	富山県小学生選手権(予備日)	岩瀬			5~7 県高校総体	高岡コア		
	6	実業団県予選(4面)	宮野山						
	13	レディース県大会(予備日)	前田			14 2級審判講習会	各地区	13 日連評議会	東京
	13	全日本マスターズ予選会	前田	11~13 各地区大会	各地区	19,20 北信越高校選手権	石川県	19,20 北信越高校選手権	石川県
	20	国体1次選考会	小矢部					25~27 ハイスクールジャパンカップ	札幌市
	20							26,27 北信越小学生クラブ選手権	高岡コア
	27							4 北信越実業団リーグ	上越市
7	3	スポ少交流会	城端					17,18 東日本選手権大会	金沢市他
	4	県体1部(成年)(予定)	(未定)	17,18 県選手権(予備日19)	高岡コア	10 県体	高岡コア		
	11	全日本選手権予選会	前田			19 国体選考会	高岡コア		
	17	県体3部(学童)(予備日)	岩瀬	24 県体	高岡コア	28 ジュニア大会(個人戦)	高岡コア	23~25 全日本実業団選手権大会	宇部市
	18			25 ジュニアオープン予選	コア他				
	25	県体2部(一般)3部(一般)(予備日)	岩瀬	29~1 強化練習会	高岡コア				
8	1					5~12 インターハイ	沖縄市	1~3 全日本レディース大会(個人戦)	仙台市
	8			4,5 北信越大会	越前市			5~8 全日本小学生選手権大会	旭川市
	15	鉄壁大会	滑川	7,8 ジュニアオープン決勝大会	高岡コア			5~12 インターハイ	沖縄市
	22					19,20 ジュニア選手権(団体)	高岡コア	6~12 全日本学生選手権大会	長浜市他
	29					21,22 北信越国体	高岡市	23~25 全国中学校大会	岡山市
9	5	前田杯(予定)	前田					23~29 日韓中ジュニア交流競技大会	中国
	5	北日本選手権(予定)	岩瀬					21,22 北信越国体	高岡市
	12							25~27 全日本レディース決勝大会(団体)	江東区
	19			17~19 各地区新人大会	各地区			27~29 競技者育成プログラム	松本市
	25	小学生秋季大会(予備日)	岩瀬					4,5 全日本社会人選手権大会	さいたま市
	26					25~27 第65回国民体育大会	白子町	5 北信越レディース選手権大会	小松市
10	2	フレンドシップ大会(ジュニア)	八尾					11,12 全日本ジュニア選手権大会	広島市
	3	県選手権(全面)	宮野山			2 秋季選手権(予備日3)	高岡コア	10~12 全日本シニア選手権大会	北九州市
	10	ソフトテニスの日 新保杯(予定)	前田	9 県選抜大会	高岡コア			18~20 日本スポーツマスターズ	四日市市
	10	ソフトテニスの日 百才大会(予備日)	岩瀬	10 都道府県一次予選	高岡コア			25~29 第65回国民体育大会	白子町
	17								
	24	秋季クラブ対抗(予備日)	岩瀬					9~12 ねんりんピック	能登町
	31	辰尾杯(レディース)(予備日11/)	岩瀬			30 インディア地区予選(予備日31)	各地区	15~17 全日本選手権大会	徳島市
11	7							16~19 スポレク祭	高岡市
	14			13,14 北信越研修大会	福光屋内			29~31 全日本実業団リーグ	福知山市
	21			20 ジュニアオープン1年生大会(予備日21日)	コア他			30,31 全日本クラブ選手権大会	白子町
	27	全国小学生大会県予選(女子)	福光屋内					5,6 全日本シニアレディース	長浜市
	28	全国小学生大会県予選(男子)	福光屋内					13~19 アジア大会	中国
12	5							19~22 ジュニアジャパンカップ	宮崎市
	11	納会	高岡地区			11 県インドア個人男子	県総合体	20,21 北信越小学生インドア	小松市
	11	水見市オープン団体(女子)	水見ふれ			12 県インドア個人女子	県総合体	11,12 日連評議会	東京
	12	水見市オープン団体(男子)	水見ふれ			23 県インドア団体男子	黒部総体	16~19 日本リーグ	広島市
	19			23 県中学インドア選手権	小杉総合	27 県インドア団体女子	黒部総体	18~21 国際ジュニア大会	四日市市
	26								
1	2								
	9								
	16							16 北信越一般インドア	松本市
	16							22,23 北信越高校インドア	小松市
	23	県インドア	県総合体					30 北信越中学インドア	鯖江市
	30								
2	5			2 U14-17強化練習会	西部体育			6 全日本インドア	大阪市
	13			5 U14-17強化練習会	西部体育				
	16			12 U14-17強化練習会	西部体育			12,13 日本リーグ入替戦	名古屋市
	20								
	27			26 U14-17強化練習会	西部体育				
3	5	小学学年別インドア大会(女子)	水見ふれ	5 U14-17強化練習会	県総合体				
	6	小学学年別インドア大会(男子)	水見ふれ	12 U14-17強化練習会	県総合体				
	13								
	20							26~28 都道府県対抗中学	伊勢市
	27							28~30 全日本高校選抜大会	名古屋市
	28							29~31 全国小学生大会	白子町

県連主催一般大会申込先: 大会の1週間前迄 競技部 漆間徳治へ Tel(Fax共) 0765-57-3050
メール ururun419@ma.mrr.jp

平成22年度大会実施要項

富山県ソフトテニス連盟No.1

大会名	春季クラブ対抗	県シングルス	春季選手権	全日本実業団県予選	国体1次選考会	マスターズ県予選
期日	4月11日	4月18日	4月25日	6月6日	6月20日	6月13日
予備日	雨天中止	小雨決行	5月2日	小雨決行	小雨決行	小雨決行
会場	小矢部運動公園 小矢部市平桜宇岡山200	宮野山運動公園	前田コート	宮野山運動公園	小矢部運動公園	前田コート
種別	男子の部 女子の部	男子の部	一般男女 成年男女 シニア男女 シニア二部男女	男子の部 女子の部	一般男女	A 35才以上女子ヘア B 35才以上男子ヘア C 45才以上女子ヘア D 45才以上男子ヘア E 35才女子45才男子
参加資格	日本ソフトテニス連盟の会員であること 各協会に登録したクラブ及び職域チーム ジュニアクラブチームの参加も可	日本ソフトテニス連盟の会員であること	日本ソフトテニス連盟の会員であること 成年男女(35才以上) シニア男女(45才以上) シニア二部男女(55才以上) 参加チーム数が規定数よ よ少ない種目は、他種目 に組み込む場合がある	日本ソフトテニス連盟の会員であること 連盟に登録した会社、官 公庁のチーム その他実業団大会要項に 準じる	日本ソフトテニス連盟の会員であること 一般男女(フリー)	日本ソフトテニス連盟の会員であること
参加料	¥6000/チーム	¥1000/1名	¥2000/組 (中学、高校は¥1000/組)	¥6000/チーム	¥2000/組	¥2000/組
その他	男女混合は男子の部 ジュニア参加料は半額			上位チームは全国大会 出場	一般男女1.2位 は最終選考会の 出場資格を有する 最終選考会は強化部推薦 選手を含めて行う(日程未)	各種別の1位は9月開催の 日本スポーツマスターズの 出場資格を得る 女子及びミックスは レイス県大会を兼ねる
申し込み	競技部編成委員又は、競 技部長へ大会1週間前 までに申し込むこと	競技部編成委員又は、競 技部長へ大会1週間前 までに申し込むこと	競技部編成委員又は、競 技部長へ大会1週間前 までに申し込むこと	競技部編成委員又は、競 技部長へ大会1週間前 までに申し込むこと	競技部編成委員又は、競 技部長へ大会1週間前 までに申し込むこと	競技部編成委員又は、競 技部長へ大会1週間前 までに申し込むこと 女子はレディースへ

大会名	全日本選手権予選会	第60回県民体育大会	ジュニア選手権大会	富山県選手権	秋季クラブ対抗	インドア選手権
期日	7月11日	中学7/24 高校7/17 学童7/17 一般7/25	中学7/25 8/7,8 高校7/28 8/19,20	10月3日	10月24日	1月23日
予備日	未定	小雨決行	小雨決行(8/2) 小雨決行	小雨決行	雨天中止	
会場	前田コート	高岡コア 桃山他 岩瀬 岩瀬	高岡コア他 高岡コア	宮野山運動公園	岩瀬スポーツ公園	県総合体育館
種別	一般男女	2部(都市対抗男女) 3部(初心者一般男女) (学童男女)	要項別途案内	一般男女 成年男女 シニア男女 シニア二部男女	男子の部 女子の部	一般男女 成年男女 シニア男女
参加資格	日本ソフトテニス連盟の会員であること 高校生はインターハイ個人 戦出場の6組と国体強化 メンバー、中学生は北信越 大会個人戦出場の6組まで の参加を認める	2部 1部出場者を除く 3部 下記の項全て満たし ていること 1.2部に出場していない 国体選考会に出てない 北信越大会に出てない 県選手権で4位迄に入賞 してない		日本ソフトテニス連盟の会員であること 成年男女(35才以上) シニア男女(45才以上) シニア二部男女(55才以上)	日本ソフトテニス連盟の会員であること 各協会に登録したクラブ及 び職域チーム ジュニアクラブチームの参加も可	日本ソフトテニス連盟の会員であること 一般男女(フリー)
参加料	¥2000/組	参加料あり (種目で異なる)		¥2000/組	¥6000/チーム	¥2000/組
その他	上位2組は10月開催の全 日本選手権の出場資格を 得る。 なお、全日本選手権には 技術等級2級以上が必要 なため、未取得者は直ち に技術等級を申請すること	詳細は県体要項参照		参加チーム数が規定数よ よ少ない種目は、他種目 に組み込む場合がある 一般男女は北信越インドア の予選を兼ねる	男女混合は男子の部 ジュニア参加料は半額	高校生の参加可(参加料 は半額)
申し込み	競技部編成委員又は、競 技部長へ大会1週間前 までに申し込むこと	各市町村へ		競技部編成委員又は、競 技部長へ大会1週間前 までに申し込むこと	競技部編成委員又は、競 技部長へ大会1週間前 までに申し込むこと	競技部編成委員又は、競 技部長へ大会1週間前 までに申し込むこと

(5) その他

○ 役員の変更及び追加

- ・副会長 真田 剛（富山県小学生ソフトテニス連盟会長に就任のため）
- ・副理事長 福井康弘（真田氏より変更：砺波地区担当）
- ・常任理事 近川利行（富山県小学生ソフトテニス連盟理事長に就任のため）

常任参与 居島清一 小野田裕二